

〔江戸東京野菜生産流通拡大事業（受託研究）〕

「寺島ナス」栽培における主枝6本仕立ておよび接ぎ木による増収効果

沼尻勝人・野口 貴・海保富士男・木下沙也佳
(園芸技術科)

【要 約】主枝6本仕立てや接ぎ木は、果数および収量を増加させる。特に、接ぎ木は草勢を強めることで増収効果が高く、病害対策としても有効であることから「寺島ナス」栽培では有効な手段である。ただし、本試験では自根より果実糖度がやや低い傾向がある。

【目 的】

「寺島ナス」（「蔓細千成」）の基本的な収量特性や収穫果実の適切なサイズについて明らかにしてきたが、仕立て方や接ぎ木の影響は不明である。そこで、本試験では主枝の仕立て本数および接ぎ木が「寺島ナス」の収量や生育に及ぼす影響を明らかにする。

【方 法】

2018年4月23日に、「寺島ナス」および「とげなし千両二号」の自根苗および接ぎ木（「トナシム」台）苗を畝幅70cm、株間60cm、黒マルチを施したベッドに栽植密度694株/10aで定植した。主枝は慣行栽培である4本仕立てのV字誘引としたが、「寺島ナス」のみ6本区を加えた。試験区は、1区4株の3反復とした。いずれの区も施肥を含め同様の管理とし、6月から9月末までは、収穫時に2芽を残して切戻ししたが、それ以外の期間は放任とした。収穫調査は10月まで実施し、生育調査は11月12日に茎径や側枝重を測定した。

【成果の概要】

1. 「寺島ナス」は、主枝数4本から6本への増枝や接ぎ木によって、果数および収量が増加したが、特に、接ぎ木の効果が顕著であった（表1）。いずれの処理も果実重や可販率への影響は明らかではなかった。「とげなし千両二号」と比較すると、「寺島ナス」の果数は倍近く多かったが、果実重が小さいことから収量は7割程度であった。
2. 旬別収穫果数の推移には、主枝数や接ぎ木の影響はみられず、両品種とも同様の傾向を示したが、「寺島ナス」は生育初期から下物割合が多い特徴がみられた（図1）。一方、10月中旬以降は、「とげなし千両2号」で可販果が少なかったが、「寺島ナス」は増加した。
3. 「とげなし千両二号」の下物はスレ果が中心であるのに対し、「寺島ナス」では、スレ果のほか、つやなし果や着色不良果も多く、収穫果数に対して2割近くを占めた（図2）。
4. 果実糖度は、「とげなし千両二号」よりも「寺島ナス」で高く、最高値はそれぞれ5.1%および6.6%であった（図3）。また、「寺島ナス」は接ぎ木でやや低かった。
5. 茎径は、株元に近い部位では「寺島ナス」が太く、接ぎ木でより太くなる傾向がみられた（図4）。この傾向は、側枝重と同様の傾向であり、接ぎ木することで草勢が強まり、枝葉量が増加していることが示唆された（図5）。

【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 接ぎ木は、都内で発生の多い半身いちょう病対策にも効果的である。
2. 「寺島ナス」のつやなし果や着色不良果の発生について、時期や状況などを調査し、対策技術を開発していくことが課題である。

表1 「寺島ナス」の収量性に及ぼす主枝の仕立て本数および接ぎ木の影響

品種	主枝数	接ぎ木 有無	収穫果数(個/株)				収量(t/10a)				可販果実重 (g/個)	可販率 (%)
			A品	B品	A・B計	下物	A品	B品	A・B計	下物		
とげなし 千両二号	4本	無	62	36	98	43	4.6	2.7	7.3	2.9	107	70
		有	65	40	104	45	4.7	3.0	7.7	3.2	106	70
有意性			n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
寺島ナス	4本	無	103	52	155	89	2.8	1.6	4.3	2.8	40	64
		有	128	61	188	96	3.6	1.9	5.5	3.2	42	66
	6本	無	113	61	173	97	3.1	1.9	5.0	3.0	41	64
		有	126	70	196	111	3.5	2.3	5.8	3.6	43	64
要因効果			n.s.	+	n.s.	+	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
交互作用			n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

注) 2018年4月23日定植, 株間60cm, 畝間240cm(栽植密度694株/10a)、接ぎ木は「トナシム」とした。「寺島ナス」のA品およびB品、下物の分類は、「とげなし千両二号」と同様に判断した。有意性は、t検定により*は5%水準で有意差があり、n.s.は有意差がないことを示す。要因効果は、分散分析により*および+は5%および10%水準で有意差があり、n.s.は有意差がないことを示す。

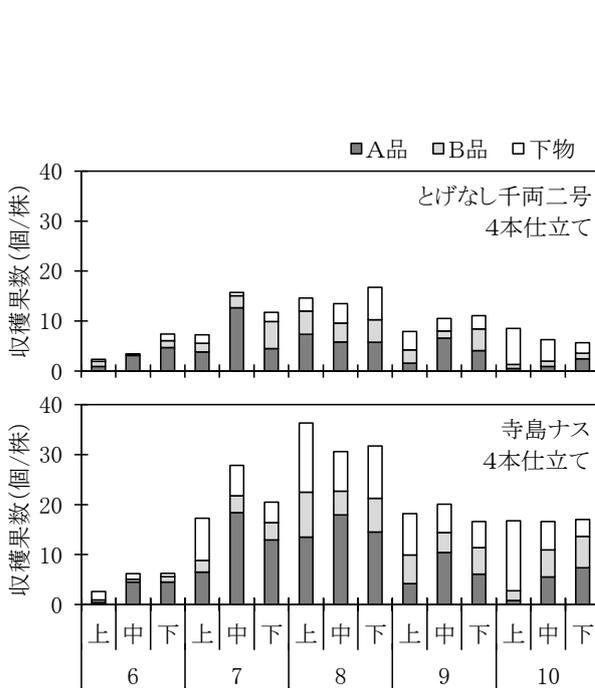


図1 「とげなし千両二号」および「寺島ナス」の収穫果数の推移
注) データは4本仕立て, 接ぎ木区のみ

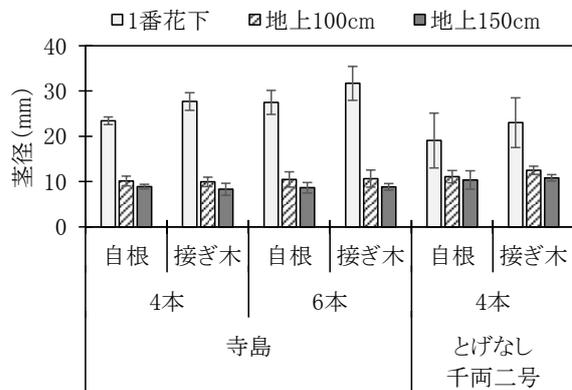


図4 「寺島ナス」および「千両二号」の生育
注) 縦棒は標準偏差, 11月12日測定。

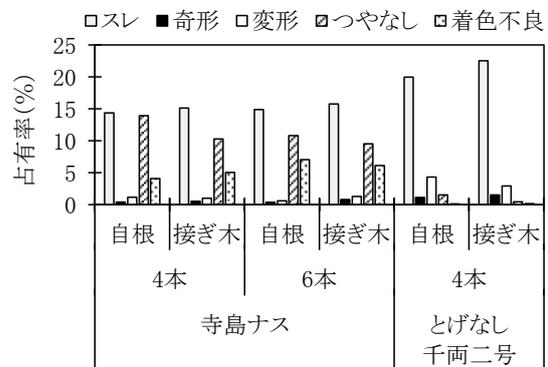


図2 「寺島ナス」および「とげなし千両二号」における
収穫果数に対する主要な下物の割合

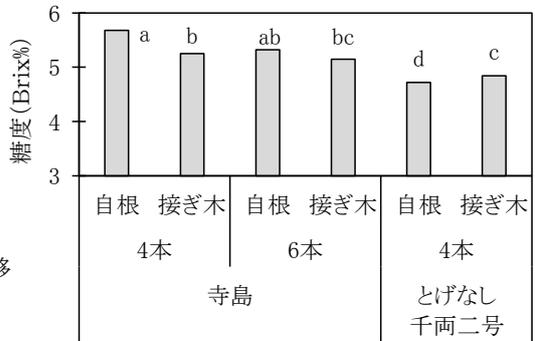


図3 「寺島ナス」および「とげなし千両二号」の糖度
注) 9月18日測定, 異なる英文字間にはTukey法により5%水準で有意差がある。

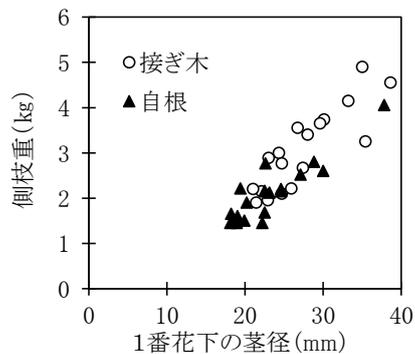


図5 茎径と側枝重の関係
注) 試験区あたり6本(計36本)の値を示す。